

C.ドビュッシー:

ベルガマスク組曲

■前奏曲 ■メヌエット ■月の光 ■パシエ

ノクチュルヌより「祭」

小組曲

■小舟にて ■行列 ■メヌエット ■パレエ



M.ラヴェル:

亡き王女のためのパヴァーヌ

組曲「クーブランの墓」

■前奏曲 ■フーガ ■フォルラーヌ ■リゴドン ■メヌエット ■トッカータ

ボレロ

C. DEBUSSY

Suite bergamasque

Fêtes de Nocturnes

Petite suite

et M. RAVEL

Pavane pour une infante défunte

Suite 'Le tombeau de Couperin'

Boléro



Mi-Bémol Saxophone Ensemble The 24th Subscription Concert at The Izumi Hall, Osaka

http://homepage.mac.com/mi_bemol/

2008年

12月14日(日)開演14:00 (開場13:30)

いずみホール ●JR大阪城公園駅より徒歩3分・地下鉄OBP駅より徒歩約5分/有料駐車場完備

2:00pm Sunday, December 14, 2008 at The Izumi Hall, Osaka

■入場料(税込・全席指定): ●未就学児童のご入場はご遠慮ください。

A席:4,000円(当日券:4,500円) B席:3,000円(当日券:3,500円)

■協賛:野中貿易株式会社

■後援:いずみホール[財団法人 住友生命社会福祉事業団]

大阪府/日本サクソフオン協会/関西吹奏楽連盟/大阪音楽大学同窓会[幸楽会]

■マネジメント:クラシック・ハウス TEL.06-6341-8116

「ミ・ベモル」とはフランス語の「ミのフラット」を意味しています。サクソフオンは移調楽器といわれ、アルトサクソックスやバリトンサクソックスで「D」の音を演奏すれば、実音で「ミのフラット」が鳴るように作られているところが、このアンサンブルの名前の由来です。ソプラノ、アルト、テナー、バリトン、バス5種類のサクソフオンだけのアンサンブルで、クラシックを中心に様々なジャンルの音楽をレパートリーにしています。

■1989年、前田昌宏の呼びかけで大阪音楽大学、大阪芸術大学の卒業生と学生により結成。23回を数える自主公演をはじめ、各地での依頼演奏、FMやBS放送出演等幅広い演奏活動を通じ、音楽性豊かな、そして繊細かつダイナミックな演奏は数多くのファンを魅了してきました。来年には創立20周年を迎えます。

■更にその活動は海外にも及び、ニューヨーク・カーネギーホールを含むアメリカ・カナダ、さらにフランス・イタリア・スペイン、また中国やタイなどアジア諸国へのコンサートツアーを幾度となく重ねています。2005年、2006年のフランスツアーでは、各地のホールや教会など大きな会場のほか、公園やぶどう畑などでも演奏会を開き、心のふれあいを通じた国際交流を果たしています。また2006年スロヴェニアで開催された世界サクソフオン会議に出席し、5日間の開催期間を通じ最も賞賛を得た演奏団体として、各国の代表から「今ある世界の最高峰」と位置づけられるに至りました。2007年9月にはマレーシアにおいて開催されたフルートフェスティバルにゲストとして招聘され、多くの聴衆から賛辞を得ました。

■現在11枚のCDが発売されており、特に昨年開催した第22回定期演奏会の模様をCD化された「シェヘラザード」は、音楽専門誌でも推薦されるなど優れた評価を得ています。また、前バリ音楽院教授ダニエル・ドゥファイエ氏や現バリ音楽院教授クロード・ドゥラングル氏を招聘してリサイタルやクリニックを主催するなど、文化活動、青少年の育成、生涯教育にも寄与しています。

■前売:

■電子チケットぴあTEL.0570-02-9990

■電子チケットぴあPコード予約専用 TEL.0570-02-9966 (P-code 302-667)

■いずみホールチケットセンターTEL.06-6944-1188

■クラシック・ハウスTEL.06-6341-8116 http://www.kcc.zaq.ne.jp/classic_house/

Soprano Saxophone

前田昌宏
岩田瑞和子
山本恵
高橋千尋

Alto Saxophone

前田幸弘
本田千鈴
平田洋子
阿部澄子
中坪かなえ
岩本祐加子
西田歩美
中戸有香子

Tenor Saxophone

陣内亜紀子
長井慧巳
東 真紀
花崎晃平

Bariton Saxophone

佐々田剛
中平雄大
額田千春
米井悠

Bass Saxophone

岩本雄太

ミ・ベモルサクソフオンアンサンブル 第24回定期演奏会

光の帯が交錯する色彩感・深い情調を響かせる独特な技法はまさにミ・ベモルの世界である。